

大町病院サポーターの会報

No 108

2026年1月発行

大町病院サポーターの会

発行責任者柳澤英幸



第12回病院祭 総合診療科プレゼンツ診察体験
～子ども白衣を着てお医者さんになりきろう



第12回病院祭 介護レクリエーション～
車椅子体験

新年明けましておめでとうございます

サポーターの会 会長 柳澤英幸

令和8年 新年のご挨拶を申し上げます。サポーターの会
会長 柳澤英幸です。明けましておめでとうございます。

昨年度より前会長の降旗剛さんの後を引き継いだ柳澤英幸
です。前会長には6年の長い間務めていただき大変ありがとうございました。私がサポーターの会に入ったのは私の兄が
今年も飾りました樅ノ木にイルミネーションを飾り付けてくれといわれたことからです。

どの様にして良いのか分からずにいたのですが私の住んでい
る十日町の仲間に相談したら、何とかしようということで始まりました。十日会の力を借りて第
1回目のクリスマスツリーができました。昨年度はツリーの土台を直していただき大変ありがとうございました。昔のことを書きましたが、本年度もサポーターの会の皆さんの協力で立派なツ
リーができました。毎年お世話になっている役員の皆様や病院の役員の皆さん本当にお世話にな
りました。大町病院を利用している方々に少し勇気を与えられたかと思います。

昨年度もサポーターの会として皆さんの協力を得て3回にわたり病院の周りの草取り、剪定等朝
早くから来ていただきありがとうございました。ロータリーにあるプランターの水くれ、暑い中
大変ご苦労様でした。病院祭には大町岳陽高校生による書道のパフォーマンスを行っていただき
とても感激しました。団体会員の皆さんには多くの店を出していただき、内容も充実した病院祭
になりました。ツリーの点灯式には牛越徹市長さん、藤本圭作病院長さんの出席ありがとうございました。その後の記念コンサートでは、プロ顔負けの演奏をしていただき心に残る日になりました。
2月に行った雪遊び交流会では多くの人の参加で楽しい1日になりました。いろいろな1
年でしたがすべての行事は1人ではできません大勢の皆さんのがあってのことだと思います。今
後ともよろしくお願ひします。

結びにこの1年、藤本圭作院長はじめ医師、医療スタッフ、職員の皆さんには充実した医療を
提供していただきました。改めてお礼を申し上げ、本年度も変わらぬ地域医療をお願い申し上げ、
ご挨拶といたします。



新年明けましておめでとうございます

大町病院サポーターの会の皆さん、新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり有難うございました。令和7年度、新たに内科・総合診療科、さらに内科部長として関口先生が、総合診療プログラムに大津先生、丸山先生、小児科の森谷先生の後任として土田先生、泌尿器科に遠藤先生が入職されました。遠藤先生は出産と育児休暇をとられていましたが、この1月から復帰されています。



6月には斎藤先生が入職され、リウマチ・膠原病内科として勤務。北原先生は従来からのリウマチ・膠原病内科に所属すると共に、漢方内科部長として漢方医療に重きを置いて診療されています。循環器の大渕先生は8月一杯で退職されました。これで診療部の常勤医師数はトータルで31名となり、10年前の16名から倍近く増えました。昨年度から、総合診療プログラムに参加される先生方ですが、専攻医ではなくて、ほかの病院に勤務され、専門を持ちながら、さらに総合診療、家庭医療、地域医療について勉強したいといって来られる先生で、本年度も県立木曽病院で消化器内科を専攻されている医師が来られることになっています。当院にとっては、とても重要な戦力になっています。一方、寂しいですが、プログラムが終了して去っていく先生方もいて、当院で学んだことを是非役立てていただければ有難いです。また、さらに研鑽を積まれ、当院に戻って来られれば幸いです。

病院の経営状況ですが、令和6年度から6年ぶりに赤字に転落し、1億2,879万円の純損失となりました。令和7年度では、更に人事院勧告による3.6%の給与アップ、物価高騰による材料・薬品費、光熱費の増加により大幅な赤字が見込まれています。全国自治体病院の約9割近くが赤字経営です。高市さんが総理大臣に就任し、来年度は診療報酬が改定され、6月に施行予定となり、加えて医療機関、介護施設に対して補助金を出すと公言されており、期待しているところです。

令和5年度から進めている経営強化プランも半ばとなり、出来ていること、出来ていないことを見極め、新たな患者獲得、訪問診療の充実、近隣病院との連携強化や適正な人員配置を含む一層の業務効率化を図り、経営改善に向けて職員一丸となって努力しているところです。一方、国としては、特に過疎地やへき地において進行している人口減少、超高齢化を踏まえて、地域医療構想を積極的に推し進め、病床数の削減、各病院の機能分担と病床機能の再構築を強く推し進めてくると聴いています。

当院は大北医療圏には無くてはならない地域包括ケアの要となる病院です。他の医療機関、介護施設との連携を強化して、持続可能な病院経営を目指していきたいと考えています。

市立大町総合病院
病院管理者・病院長
藤本 圭作

市内研修の感想

(信州大医学部5年 山田 陽瑛) 研修日 (9/12)

1. 医師を志した理由

私が医師を志そうと思ったきっかけは、小学五年生の時「神様のカルテ」を拝読したことです。当時の純粋な私は、主人公の医師としての在り方に大変感動し、そこから私は将来医師になるのだと決意しました。信州を選んだ理由は、その「神様のカルテ」の舞台が松本であったからというだけの理由ですが、大変住み良く、今ではすっかり気に入ってしまいました。



2. 大町病院の印象

まず一番の印象としては歴史的に内科に力を入れている病院だということです。内科の先生方は教育に非常に熱心で毎日のように勉強会を開催しておられますし、また学生の私に対しても大変お忙しい中貴重な時間を割いていただき、さまざまな疾患や手技の解説をしていただけます。こういった環境を通して地域の医療を守っているのだと感じました。

3. 市内案内の感想

おそらくこういった案内をしていかないと生涯知ることのなかったであろう大町という地域の成り立ちや、特性、ちょっとした小噺や美味しいお店の情報など教えていただきました。元々こういった民俗学的なものには興味があり、小学生の頃などは地域の郷土博物館などにふらっと行ったり、公民館のおじさんと地域を巡るといったイベントにも参加していましたので、久しぶりにその楽しさを思い出すことができました。地域を流れる水(女清水や男清水)が美味しいかったです。案内してくださった高橋様、ありがとうございました。

（信州大学医学部医学科5年石原佑理）研修日（9/12）

1. 医師を目指した理由

もともと相手に喜んでもらえることが好きであり、自分の行為で患者さんの命を救えたり、生活を良くすることができる医師という職業に魅力を感じ、志しました。

2. 市立大町総合病院の印象

信州大学病院と違い、長年にわたり大町総合病院に通っている患者さんが多く、患者さんと医師との関係がとても近いように感じられました。また先生方は患者さんの病気だけでなく経済的な面や生活面にまで気にかけられている点がとても印象的でした。さらに大町総合病院は地域との連携が強く、地域の皆さんに愛されている病院なのだと感じました。

3. 地域診断実習、大町市内案内の感想

お話を聞くまで全く知らなかった大町市の歴史を知ることで大町市の見え方がとても変わり、とても興味を持つことができました。今後も更に大町市の魅力を知り、大町市を好きな街にしたいと思います。



（信州大医学部5年生 馬場 淳）研修日（10/17）

1. 医師を目指した理由

私が医師を志したきっかけは、医師である父の影響と、幼い頃に読んだ医療漫画です。小さい頃から父の話を聞くうちに、医療が人の命や生活に深く関わる仕事であることを知り、次第に興味を持つようになりました。また、医療漫画を通して病気と向き合う患者の姿や、医師がその人の人生に寄り添う場面に心を動かされました。医学の知識だけでなく、人としての温かさが求められる職業であることに魅力を感じ私もそのような医師を目指したいと思うようになりました。

2 大町病院での実習

市立大町総合病院での実習では、地域に根ざした医療の在り方を学ぶことができました。大規模病院とは異なり、患者さん一人ひとりと長く関わる中で、生活背景や家族との関係を踏まえた診療の大切さを実感しました。

3. 域診断の感想

市内の様々なお店や施設を訪問させていただき、大町市がどのような町であるかを詳しく学ぶことができました。また、住民に話を聞いていくうちに、病院と地域の関係性についても詳しく知ることができました。そして、地域にとって市立大町病院が必要不可欠であることを改めて実感できました。

今回をこのような機会を与えてくださり大変感謝しております。今後も、今回学ばさせていただいたことを意識して勉学に励んでいきたいと思います。



市内研修 本日の感想 松本蒼太郎 研修日（12/5）

私が医師を目指し始めたのは、高校の頃部活で頻繁に怪我を繰り返しており、整形外科の先生に長い間お世話になったことがきっかけでした。自分が助けられた経験から人を助ける仕事に就きたいと考えるようになりました。大町総合病院での実習では、地域や患者さんの周囲の環境に寄り添った診療が行われていると感じてきました。本日お話を伺って、さらに病院と大町がより密接に関わっていたということに気が付きました。また、多くの支援があって病院が成り立っていることを知る良い機会となりました。大町市内を案内していただき、大町の歴史を多く知ることができ、大変有意義な時間となりました。さらに大町のおいしい食事を頂いたり、珍しい動物を見ることができ、貴重な経験となりました。本日は大変お世話になりました。ありがとうございました。 3

第12回病院祭

実行委員長は服部守恭さん
(臨床検査科)

病院祭のパンフレットの原画
を描いていただいた松井隆登
さんです





第12回病院祭
(健康小おおまち～医療職の物語～)

フレイル予防体操

笹澤先生特別講演「正しく知って、未来を守るワクチン」

- ・誤情報の氾濫とワクチン忌避
- ・ワクチンとは?
- ・子どもにも、大人にも人生を守るワクチンについてご講演いただきました。



難病と闘いながら演奏活動
毛利良平さん(ピアノ)の演奏



音楽で癒しを～みんなで歌おう「いのちの歌」駒瀬先生の伴奏で♪藤本病院長の歌声も♪



シンポジウム「わたしが今の医療職になった理由
となってよかったです」

医療職になった理由と良かったこと、また職務内容などお話していただきました。これから医療職を目指す若者達が熱心に聞き入っていました。将来医療職を目指す若者の指針となり背中を押すようなシンポジウムになったのではないでしょか。皆様お忙しい中ご準備いただきありがとうございました。



9月28日早朝6時30分から病院祭に先駆け会場周辺の草取りなど整備を行いました。参加された方、早朝よりありがとうございます。

イルミネーション点灯式と準備

11月15日（土）、

イルミネーションの準備を行いました。暖かなお天気で作業が進みました。

今年はLEDライトを新調しました。階段等の手すりに飾り付け、柳澤会長に用意していただいた高所作業車に自ら乗り込んで、でもみの木の上に新型の星を取り付け、灯りを上から垂らして飾りつけが準備万端整いました。ご協力いただいた皆様ありがとうございます。



11月28日（金）点灯式開催。例年に比べると暖かな日でしたが、さすがに午後6時になると肌寒くなってきました。牛越徹大町市長、藤本圭作病院院長、サポーターの会会長柳澤英幸さんの3人で点灯スイッチを押すと会場から歓声が上がり、LEDの灯りが点滅を始めました。新調したLEDが華やかに輝きました。患者さんや病院関係者にとって冬季間、癒しの灯りとなり、寒い冬を元気に乗り切っていただければ幸いです。



イルミネーション記念コンサート



病院ウクレレ部

もろびとござりて
あわてんぼうのサンタクロース
赤鼻のトナカイ
星に願いを
サンタが街にやってくる
クリスマスイブ (山下達郎)

オカリーナ (ポポロ)

岬めぐり
再び (~千と千尋の神隠し)
ひょっこりひょうたん島
夕焼け小焼け

垂水謙太郎 (経営アドバイザー)

バイオリン演奏
クリスマスソングメドレー
ノクターン (アザラシヴィリ)



イルミネーション記念コンサート開催
11月28日(金) 南棟講堂で、イルミネーション点灯を記念してコンサートが開催されました。病院ウクレレ部さん、オカリーナ・ポポロさん、垂水謙太郎さんによる演奏は、少し早いクリスマスの雰囲気の漂う素晴らしいコンサートとなりました。

11月27日、「TOKIWA FLOWERS」 奥原ゆかりさんより、イギリス仕込みのリースをいただきました。

奥原さんは降旗剛前会長と同じ職場で働いていたことから、降旗さんを通じ病院に飾ってほしいと寄贈していただきました。イギリスへ留学し本格的なリース作りを学び、帰国し花卉栽培から始めたものです。イルミネーション記念コンサートで披露させていただきました。



イルミネーション記念コンサート会場を飾り、雰囲気を盛り上げました。



野菜を差し入れました

10/18 キャベツ・野菜/11/12 ブロッコリー
11/17 白菜/11/19 大根差し入れ/11/20 里いも
11/25 おろし大根/12/5 里いも/12/15 キウイフルーツ 180個を医局、看護部、総務部等へ差し入れました。今年は葉物を中心に猛暑のため生育が悪く、不揃いで数もそろわず慌てましたが根菜類は比較的良好出来でした。

満足していただけたか心配です。

公立病院の 8 割以上が赤字

総務省は 9/30 全国の公立病院の 2024 年度決算をまとめた。844 病院全体の経常収支は 3,952 億円 の赤字。赤字だったのは 703 病院で全体の 83.3% を占めた。赤字幅、赤字病院の割合はいずれも過去最大。総務省は、人件費の増加や医薬品などの価格高騰で経営状況が悪化しているとみている。

12/19、政府は診療報酬改定をめぐり医師の技術料や人件費にあたる「本体部分」を 3.09% 引き上げる方針を固めた。経営支援と職員の賃上げを図る。一方 12/24 医療費の自己負担を抑える「高額療養費制度」の見直しをし、8 月から 2 段階で月々の自己負担上限額を引き上げ、27 年 8 月に 38% 増とする。70 歳以上の外来受診費を軽減する「外来特例」も低所得者層を除き段階的に負担を上げる。(信濃毎日新聞の記事より抜粋)

ありがとうメッセージ～青木先生、関係看護師さん、関係者の皆さんへ

11月9日(日)に体調が悪くベッドに1日寝ていたがあまり体調は変化ない、翌日朝起きてトイレへ行こうと立ち上がったら、目眩がして倒れて、しばらくして気が付き、ベットにつかまりながら戻る。目眩がして目は開けていられず、弟、妹に救急車を呼んでもらい大町病院へ入院して治療する事になりました。もう年ですし、同級生も数えるほどしか生きておらず、今度は私の番だと覚悟して入院しました。脳神経外科の青木先生、関係の看護師さんのご努力により、あの世の入り口から連れ戻されました。4.5 日入院して治療を受けた結果、めまいもだんだんなくなり、おかげをもちまして11月28日(金)の午後3時退院と決まり退院いたしました。約3週間の入院でした。この間、青木先生や関係の看護師さん、関係の皆さんに大変なお世話になり、お礼の申し上げようありません。入院した年寄りを親切、丁寧に、優しく看護していただきましたが、これは口で言うことは優しいが大変に難しいことだと思います。

私も長い人生、地方公務員として定年まで勤務し、その後、一般の会社で 14 年間務めさせてもらいました。振り返って我が人生、人に対し親切丁寧に優しく接したかというと反省せざるを得ないと思っております。残りの人生は大町病院で受けた親切丁寧に優しくモットーに生きていきたいと思っております。何回言っても言い過ぎではありません。本当にありがとうございました。 酒井秀一郎(大町病院サポーターの会会員)

雪遊び交流会参加者募集

サポーターの会主催【職員家族と交流会】スキーそりやゲーム屋食会で交流

日 時：2月8日(日) 9:00～15:00

会 場：爺が岳スキー場(センターハウス 2F)

参 加 費：大人 2,000 円(小学生、中学生 1,000 円)

(リフト・トロイカ1日搭乗券・昼食券・保険料含む)

- 申込締め切りは 1 月 29 日
- 当日は現地集合です
- 雨天中止です

募集人員：30 名

持ち物：防寒服装・防寒長靴(※スキー、ウェア、靴等貸し出し補助あり)

申込み先：職員は総務課へ

会員は、渋田見 09033430498・相沢 09014652874・高橋 09040542747 まで

市立大町総合病院サポーターの会 令和7年度会費納入者リスト 令和7年12月26日現在

個人会費

西澤正敏 小浪和正 小日向美春 井出好美 栗林里子 清水俊邦 清水あさひ 佐藤淳子
佐藤千枝子 松澤貞一 丸山優一 倉科千秋 塩入博仁 塩入優子 中村勝彦 中村孝子
中村薰 小林弥生 栗原洋子 池田溪子 丸山利子 高橋博久 今村淳一 西澤和保 宮下文雄
吉岡博子 竹内さつき 海川明文 酒井孝芳 丸山令子 松田富子 柳澤たに江 曾根原叶子
横田孝穂 藤本圭作 吉岡久人 下出玲子 丸山初枝 西牧俊郎 西牧登美子 吉澤伸

個人寄付金

海川明文

個人新規加入

海川真美子 栗林陽一 束木原咲代

団体会費

(有)小柳建設 (一社)大北医師会 大町病院職員労働組合 地場の郷 (株)大糸 松葉鮓
大町市職員労働組合 がんばりやさん (株)GCI (株)白馬フォーティセブン

団体寄付金

大町市女性団体連絡協議会

団体新規加入

壱幸